

# WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日

第1・第2 夜間・18:30～

第3・第4・第5 昼間・12:30～

例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10

事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23

サイバーリンク N-4ビル2階

TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>

E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：溝落和作 幹事：籠田 弘  
クラブ会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
週報  
通算1978回  
18号



クヌマラン科 キンラン  
開花期 五月～六月

本日の例会  
12月7日(水)  
18:30～華月殿

ロータリーソング：君が代・われ等和歌山東南ロータリー  
行 事：クラブ年次総会  
次年度役員・理事選挙  
上半期活動報告① 各委員会

次回の例会  
12月14日(水)  
18:30～華月殿

行事：上半期活動報告②  
各委員会

## 先週例会報告

ゲスト ガバナー：大澤徳平様、ガバナー補佐：脇坂三蔵様、代表副幹事：佐々木甫様  
ビジター 堀RC：佐々木一頼様、和歌山南RC：嶋谷浩男様

会場監督 中谷敬子

## 会長報告

溝落和作 会長



本日、ガバナー公式訪問で大澤ガバナーがお見えになっております。事前会議を先程受けまいりました。内容については、別日にて会員の皆様に報告させていただきます。  
大澤ガバナー後程 よろしくご指導をお願いいたします。

## 幹事報告

籠田 弘 幹事



- 第4回理事会報告 11月16日実施  
・溝落会長・中岡国際奉仕委員長が、アンコール小児病院の現地での会合に出席し、関係各クラブと協議した経過報告があり、当クラブとしても新しく支援を続けていくことに決定。
- 第26回WBSチャリティミュージックソン協賛の件は今回見合わすことにする。
- 例会場の演台の件、当クラブ独自の演台なし（北クラブ所有の物を借用）今回、新規作製をすることで吉田会長エレクトにお願いする。
- 2012年夏季青少年交換 短期交換学生の案内が来ています。詳細は事務局にございます。
- PETS開催の案内が来ています。吉田会長エレクトよろしくお願いします。
- 12月理事会は例会日変更の為、第2例会終了後行います。役員・理事の方よろしくお願い致します。
- 11月23日のぶらくり丁での新聞記事を各卓に置いています。ご覧下さい。

## ニコニコ箱

山田さち子会計



溝落君・大澤ガバナー、本日はよろしくお願いします。  
籠田君・大澤ガバナーようこそ。よろしくお願いします。  
前田君・去る11月25日、紀三井寺貢主就任50周年  
つとめ多くの参加を賜りました。  
中板君・喪中のため新年のご挨拶は失礼させて頂きます。  
山田(剛)君・毎日新聞に載せて頂きました。  
堀君・東京から帰ってきます。少し遅刻しますが、1:00  
までにはきます。  
ご結婚記念日お祝い・和田(達)君、内藤君

## ロータリー財団

山田さち子会計

堀君・\$1,000ーに向けて。

## 米山奨学会

山田さち子会計

溝落君・東南麻雀会で優勝しました。

« ロータリアンの10徳 »  
③行儀がよくなる。

## 委員会報告

マージャン同好会 和田達男

日時：12月17日(土) 集合13:20～

場所：新和歌ロッジ

第2回マージャン同好会を開催いたします。

18:00～忘年会(クエ鍋)を開催します。

たくさんの皆様のご参加、お待ちしております。



## « 第1回東南マージャン結果 » 11月26日(土)

優 勝	溝落和作会員
準優勝	小林克己会員
3 位	神谷会員奥様



出席報告	出席者	出席率
会員総数	51名	11/30 37名 75.51%
出席免除会員	2名	11/9 48名 96.00%

ニコニコ 米山奨学会 ローリー財団 東南育英会 東日本大震災  
義援BOX

累計 1,127,397 220,000 341,000 7,000 37,000

## 大澤徳平ガバナー公式訪問



2011～12年度国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー氏はまず自分自身を見つめ直すこと「こころの中を見つめよう 博愛を広めるために」のテーマを実践していただきたい。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを理解し誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えるとするならば、まず自分自身にそれを与えることです。そして「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞らなければなりません。それにはまず、自分自身の内側から始めなければなりません」「自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず怯むことなく出でて奉仕し、世界で博愛をひろげて下さい。」と訴えられました。

本年度会長の強調事項は第一に強い「家族」を築くことです。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は家族にあります。心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々に分かち合うことができるのです。

第二の強調事項は「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動を、これからも続けていかなければなりません。

第三の強調事項は「変化」です。変える必要があれば変えることです。ガンジーは「世界の変化を望むならば、あなた自身がその変化にならなければならない」と述べられました。自分自身から変わらなければ変わりません。能を大成した世阿弥は「してみてよきに尽くすべし せずして善惡定めがたし」と「してみなさい 一生懸命にやって見なさい やって見なければ良いか悪いかわかりません。良ければよし 悪ければ止めてもいいのです」の意味です。

さてこのカルヤン・パネルジー会長のテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」は正に我が身に、そして我が地区の皆様へのメッセージだと受け止めております。平和を取り戻すためには「まず自分自身から見つめ直すことから始めなさい」と言われています。見つめ直すことにより周りが見えてきます。もともと何があってここまで醜い悲しい争いになったのか、ロータリーの世界では考えられない世界にしたのはなんなのかと私自身で自分を見つめ直しました。事の発端は諮問委員会（指名委員会）にありました。私もその委員の一人ですから責任があります。PDGの見解の相違が地区会員の皆様に多大のご迷惑をかける結果になり、すまん思いでいっぱいです。しかしご本人の決断でGNを辞退されたのですから解決したのであります。後ろを見つめても何も変わりません。やめましょう。もう済んだことですから前を向いて平和を取り戻すことを考えましょう。そして再びこのようなことが絶対に起こらないようにしましょう。だから私の今年度地区運営方針を先ずは修復と再生としたのであります。

修復と再生は、すべてにおいて手続要覧・ロータリー章典に照らして何事も決めていくことから始めました。クラブもルールをもう一度見直してください。そのために私は、我が地区で1番のロータリー情報通の松生満君に代表幹事をお願いして助けていただいております。何せ18年前とはずいぶん変わっておりますので。それともう一つ、ガバナー選出の際素晴らしい人物が本人がOKしてもクラブから「うちは弱小クラブだから出せない」のセリフでこれまでいくつも消えました。これではいつまでも素晴らしいお人は出ません。現在20名以下のクラブが26クラブ在ります。30名以下ですと48クラブです。確かに所属クラブから代表幹事を含めて約20名の地区幹事は出せません。所属クラブだけでなく近隣クラブからも出ていただき連合体で地区運営をする。そのモデルケースを作ってみようと考えました。堺RCから2名だけで堺南・堺東・堺北・堺泉が丘・堺フェニックス・堺フランクほかから1名づつ地区代表幹事捕佐をお願いしてその連合体でGを支えていただいております。

12月は家族月間です。カルヤン・パネルジー会長は「万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むすべての出発点は、家族にあります。平和な家族・強い家族があれば周りも平和であります。」と強調されています

最後にロークリークラブとは・・・・ある地域において何かの事業又は職業に従事し、人道に対する奉仕という道徳的原則が人生の幸福に対して欠くべからざるものであることを認め、人の弱さはあるにしても、その許す限り、この原則を家庭に、事業に、また公の生活に適用すると心に定め、また特に自ら範を示すことによって、世界の他の人々にこの同じ原則を認めさせ、行わしめることが世界の平和に、また広く人間の幸福に導くものであると信じる人々の集まりなのです。（笹部 誠 著 ロータリーあれこれ）

ロータリアンはアイ サーブです。ロータリーはボランティア団体でもなく、奉仕団体でもない。奉仕を志す人々の集まりです。奉仕を志す人々を作る道場なのです。だから参加出席なのです。



« 委員会報告 »

事業報告書 社会奉仕委員長 向井久純



平成 23 年 11 月 23 日(祝)午前 11 時から午後 3 時 30 分、中ぶらくり丁にある和歌山市の施設「みんなの学校」に於いて、イベント名「ラ・ブらくりちょう～愛そうあがらの町～」を開催致しました。

事業の形態は、社会奉仕を目的として和歌山南ロータリークラブと合同事業となっており詳細の内容として、

①青少年育成を目的とした「野菜の販売」。これは先の「秋の収穫祭」とも連動しており、児童養護施設の虎伏学園の生徒が、野菜(サツマイモ)を自ら収穫し、販売し、災害被災地の同様の施設に寄付をするという事業です。また当日は、サツマイモだけではなく、数種類の地場産の野菜と今年 3 月 11 日の「東日本大震災」での被災地である宮城県から、りんごとお米(ひとめぼれ)を購入して、格安にて販売することによって、地域貢献にもなりました。

②地域貢献を目的とした「トークショー」。これは、平成 7 年の阪神淡路大震災の被災経験のある大阪出身の芸人のナッキイ氏と今年 3 月の東日本大震災で被災された、日本青年団体協議会 前監事の山田美香氏を招き、全国でも災害多い県の中にあって和歌山市は長きに渡って重大災害に見舞われておらず、今後いつ南海・東南海沖地震が襲ってくる判らない中で、災害に対する備えだけでなく、心構えや災害時の対処方法など防災への認識を向上させるきっかけとなればと考え、経験者だからこそ言えること、感じること、願うことを語って頂き今後我々が愛する我が町・愛する人を守る為のヒントを得ることが出来ればと良いと考えたコンセプトで行いました。

③地域活性化を目的とした「踊りの体験会」。今や全国的に広がりをみせる「よさこい踊り」と知名度抜群の「阿波踊り」のチームを招き、体験会を行うことによって、何故それらの踊りが全国の多くの人々に支持されるのかを肌で感じて頂き、今後和歌山地元の踊りを全国発信する為にはどうすれば良いのかのヒントを得ることが出来ればと言う想いで敢えて県外の踊りを設定しました。

結果は、参加人数 南 RC 会員と家族・東南 RC 会員と家族のおよそ 80 名・虎伏学園 17 名・開智高校(インタークトクラブ) 9 名・トークショー 2 名・よさこいチーム 25 名・阿波踊りチーム 30 名・一般のべ 80 名以上となりました。売上は総額で 177,250 円ありました。

総評として。①については売れ行きも好調で当初の目的は達成できたと思います。②については、トークのコンセプトはマスコミにも支持され、トークショー主体で報道して頂けたので、広く市民に認識頂けたか思います、③については、参加者がどう感じられたかは未来に期待したいと思います。ただ、派手やかさ、盛り上がりについては抜群の成果を収めたと思います。

そして、一つ報告があります。今回のトークショーのコンセプトが他団体にも認められ、今後、山田美香氏が全国での公演をされるに当たって同様のコンセプトで行われる方向となり、まずは石川県、続いて沖縄県でも行われる予定となっております。

最後に会員の皆さまの様々なご協力により、何とか無事事業を完遂する事が出来ました。どうもありがとうございました。



ラ♥ブらくりちょう  
～愛そうあがらの町～

